



You can surely do it.

仕事をみつめ直すスローガン60

# 仕事をみつめ直す スローガン 60

5 S どころか 2 S も機能しないのは何故なのか  
働く意識の勘違いを正すために必要なのは、  
短い言葉を繰り返し唱えることだった



言われた通り  
やってるし、  
できている、はず…  
何がダメなのがあ～

# 仕事をみつめ直す スローガン 60

5 Sどころか2 Sも機能しないのは何故なのか  
働く意識の勘違いを正すために必要なのは、  
短い言葉を繰り返し唱えることだった

はじめに

言われた通り仕事をこなしているはずだけど…  
そんなことまで言われなくても分かっていますよ  
指示命令がコロコロ変わり、やった仕事が無駄になる  
押し付けがましく、頭ごなしな意見にうんざりだ  
他人に厳しく、自分に甘い上司をなんとかしてほしい  
要するに…はいいけど、自分の意見を持たないってどうなの？  
そんなことは言っていない…と自分の発言に責任を持たない上司  
たまには褒めてほしいのに、叱るのが得意な上司が残念だ  
繰り返し話が多く、いい加減勘弁して欲しい  
叱る前に、教えてもらっていない仕事をできるわけないでしょ  
予算内、期限内でやれと言われても無理に決まっているでしょ  
給料以上の仕事を期待されてもね～、そもそもそれが間違いだ

職場で会社、上司、先輩、同僚などに日々募る不平不満。自分は出来ているはずなのに、どこが悪いのか理解できない…、と考えている人がいますが貴方はどうでしょうか。

「ほうれんそう（報連相）」「整理・整頓・清掃・清潔・躰の5Sに、節約、創意工夫を入れて7S」「PDCA（計画、実行、確認、改善行動）」のビジネス基本原則の前に、あいさつ、マナーを今さら事細かに言われなくても、と思うのもわかりますが、常に「初心を大切に」の意識は大事なのです。また、出来ていると思っている仕事も、自己流の色が強くなると、協調性を欠くこともあります。会社は組織です。組織としての力を発揮させるためには、今さらに聞こえる言葉ですが「一致団結」が必要です。

企業を方向づけるものとして、目標、方針、戦略、ビジョン、計画などがありますが、変わっていく変えられていく「働き方改革」によって、会社と個人との関係、ルールなど、今までの常識も通用しなくなるのかもしれませんが。

しかし、人間が突然進化するわけではありません。揺れ動く時代のなかで、会社と自分の存在意義を見失いがちな経営、労働環境にあって大切なのは、「企業哲学、思想、理念」といった精神的価値です。それらは経営のあり方や働き方を根本から理解するための共通認識なのです。

貴方の会社では、次のようなことが生じていないでしょうか。

- ・トップの考え方が、第一線まで浸透していない。
- ・さまざまな問題への対応がバラバラで首尾一貫していない。
- ・社員のヤル気（モラル）が最近とみに低くなっている。
- ・経営環境が激変し、このままでは会社の先行きが不安だ。

もし、これにあてはまるようなら、早急に手を打つべきです。業績不振や低迷の原因は、すべて「企業の内部に潜む」といっても過言ではありません。そうした企業内部のよどみや暗さを吹き飛ばさないかぎり、上司が部下に「売上げ向上にもっと努力せよ」などと怒鳴ったところで意味はありません。このような時、全社員を巻き込んだ“スローガン（標語、主張）づくり”をすると、会社全体が大いに盛り上がるものです。

本書では、「しつけに始まりしつけに終わる5Sの基本原則」に必要な、短い言葉による意識改革、意識統一を図るためのスローガンを紹介していきます。

改善

改善にこれで  
終わり  
の言葉なし

Point 1

いまがベストと  
思うな！

Point 2

自分の仕事に酔  
うな！

これで完璧だ、と思った業務手順でも、常に見直しが必要です。理由は、担当者のスキルによって、今までの手順では目標が達成できない、逆に以前よりも早く目標達成ができることになったり、OA機器などの技術革新によって作業手順の一部が不要になったりすることがあります。また、内製より外注する手順への切り替えなど、様々な要因が重なるのが仕事です。まだムダは削れるはずだ、の思考を持ち続けることが大切です。

改善

# 小さな改善の積み重ね が職場を変える

## Point 1

コツコツ、  
これが大切！

## Point 2

全員参加型が  
成功する秘訣！

机の上に書類が雑多に重ねて置かれている。キャビネットのなかも机の上と同じような状態になっていませんか。大事な書類の在り処は、担当者のみぞ知るでは、仕事は進まず、ムダな労力がかかってしまうことになります。書類探しに限らず、ちょっとした気づきで積極的な仕事の軽減を図り、本来の目的の業務達成をするために注力していくようにしましょう。仕事のための仕事をわざわざ作って忙しくしていることほどバカらしいことはありません。

改善

あと一歩もう一歩で  
仕事は楽しくなる

Point 1

頼まれ仕事に  
面白味はない！

Point 2

自分の成長を  
楽しもう！

先輩から教えられた通り、会社のマニュアルの通りに仕事をする。この考え方に間違いはありませんし、会社としても間違った処理をされて不良品を出されるより、忠実に仕事をしてくれた方が安心です。しかし、ロボットを雇っているわけではありません。AIによって、銀行の窓口業務、ホテルのフロント業務が機械にとって変わろうとしている時代です。もっとこうやれば効率がいいのに、売れるのに…の意識で、時には発言、提案をしていきましょう。

改善

# 「やりづらい」に 改善のネタがある

## Point 1

我慢、辛抱は  
美德ではない！

## Point 2

創意工夫、他人  
の真似でも可！

仕事ではありませんが、年をとると毎日の呑み薬の種類が多くなりがちです。数種の錠剤をいちいちPTPシートからプチっと取り出すのも面倒です。100円ショップに行くと、一週間分のピル小分けケースが売られていました。まさに「必要は発明の母」だと、その便利さもですが、商品の開発を思いついたことに感心します。面倒くさい、やりづらいことには、必ずもっとこうすれば楽になる、能率が上がるといった改善の課題があるものです。



改善

スローガン  
その他の参考事例

豊かな発想たゆまぬ  
改善全員参加型活動

あとひとねりの  
工夫でマンネリ打破

疑問の視点を持てば  
課題は自ずと見える

問題意識 あれば  
ひらめく改善テーマ

改善は創意をこらし  
真似て広めよ

変革

ハードルは低くない  
改革に試練はつきもの

Point 1

出来ない理由を  
すぐ出すな！

Point 2

壁があるからこそ  
仕事なのだ！

仕事に障害はつきもの。与えられた条件をフルに活用し、障害を払いのけて進んでこそプロのビジネスマンたる資格者と言えます。障害のない仕事など、遊び半分の道楽ごとで、もはや、それは仕事とはいえないと同じ意味です。資金がない、経験がない、とできない理由をあげればキリがありませんし、自分に能力がないことを認めたくない、小さなプライドを守るための単なる言い訳にすぎません。要はあるものをどう生かすかということなのです。

変革

小さくても日本一  
そんな会社にしよう

Point 1

うっかりミスは  
命取り！

Point 2

得意分野を見つ  
け磨け！

「口には関所がない」と言われますが、ひとたび悪いものを出した場合には、その評判は、口コミでどんどん広がります。中には、尾ひれがついて、ないことまでも広がっていくこともあります。「火のない所から煙は立たない」といわれるように、一旦粗悪品を出してしまうと、その後も、いずれにせよ何かあるのだろうということで、その信用を再び取り返すことはとても難しいのです。品質の評価を勝ち取るには時間がかかるものなのです。

変革

変化こそ商機  
チャンス  
他社より一歩先んじろ

Point 1

安定は後退の始まり！

Point 2

考えるだけでは意味がない！

自分を飛躍させるのは、絶えざる勉強と新たな経験です。転職者の場合、過去の経験は不要ではありませんし、大事にすべきですが、過去の経験に寄りかかりすぎると成長しません。その意味で、自分で仕事を創っていくためには、できるだけ新しい経験のできるものにしたいものです。前のときの自分より成長したかどうか、あるいは人生が充実しているかどうか、自己チェックをしてみると飛躍した自分に気づくかもしれません。

報連相

# ホウ・レン・ソウ 職場を活かす基本の基本

## Point 1

小さなプライド  
は捨てる！

## Point 2

円滑な会話が会  
社を強くする！

報告を怠るタイプには3通りあります。1つは、うっかり報告を忘れたというもの。仕事にうっかりミスが禁物なのはいうまでもありません。2つめは上司に反抗的なタイプ。「あんな上司に正面から報告できるか」というわけです。これは上司ともどもよく対話して解決せねばなりません。3つめは、独断専行で仕事をする人です。能力があって自分を頼みにしすぎるため報告抜きにするのですが、上司泣かせであり、反省していただきたいものです。